



2018島根大学学術研究講演会

エスチュアリー研究センター講演会

地球規模からみた 宍道湖・中海

宍道湖・中海の生い立ち、歴史、そして現在の環境を、地球規模の視点からみてみよう。
どのような特徴や魅力があり、また現在どのような問題を抱えているのか。わかり易く説明します。

日時 平成30年

11.18日
13:00 → 16:30

会場

くにびきメッセ 国際会議場

島根県松江市学園南1丁目2番1号
TEL0852-24-1111

定員 **300名**

※定員になり次第申込みを
締め切らせていただきます。

入場
無料

講演スケジュール

- 13:00～ 開会あいさつ
服部 泰直(島根大学長)
- 13:10～ 「比べてみよう ～アジアの大河川三角州と斐伊川・宍道湖」
13:50 齋藤 文紀(エスチュアリー研究センター長/教授)
アジアの大河川とそれがつくる三角州(デルタ)は、斐伊川・宍道湖と比べてどこが同じでどこが違うのか?特徴を見てみましょう。
- 13:50～ 「宍道湖・中海: What's it like?
14:30 学んで楽しむジオパーク」
野村 律夫(島根大学名誉教授)
地球の多様な自然を楽しめるジオパーク。今回は、島根半島・宍道湖中海ジオパークと宍道湖・中海の環境についてお話しします。
- 14:30～ 休憩
14:50
- 14:50～ 「南極の海と湖
15:30 ～極限域を生きる生命と生命の歴史が語るもの～」
香月 興太(エスチュアリー研究センター講師)
変わりゆく南極沿岸部の環境と生態系。南極の生命史や環境史を解き明かすための現地調査の様子と現地の生き物たちを解説します。
- 15:30～ 「宍道湖に繁茂する水草と海藻を知ろう!
16:10 ～対策を立てる前に大切なこと～」
原口 展子(エスチュアリー研究センター特任助教)
それぞれに個性がある、水草や海藻たち。これまでの調査・研究で明らかになってきた、彼らの“生きざま”を紹介します。
- 16:10～ 質疑応答、閉会あいさつ
16:30 秋重 幸邦(島根大学学術研究・地域連携担当理事)



お申込み・お問い合わせ先

島根大学 企画部 地域連携・研究協力課 690-8504 松江市西川津町1060
TEL0852-32-6056 / FAX 0852-32-6488

申込期限 11月12日(月)

お申込み専用URL : <https://www.leaf.shimane-u.ac.jp/enquete/no/academic2018>

